

## 環境中濃度による詳細評価

## 人健康影響

優先通し 番号	物質名称	CAS No	旧指定・ 二監No	旧三監No	生分解性	有害性ク ラス	有害性ク ラス根拠	化審法届出		モニタリング濃度に基づく評価					摂取量内訳						モニタリング濃度												
								今回の優 先度	暴露クラ ス	判定	HQ	D値 [mg/kg/day]	D値根拠	摂取量 [mg/kg/day]	直近5年(平成24～28年度)モニタリングに基づく媒体別摂取量 ※同じ媒体での複数の測定結果がある場合は、最大値を用いて摂取量を計算			直近5年(平成24～28年度)の 大気モニタリング最大濃度			直近5年(平成24～28年度)の 水質モニタリング最大濃度			直近5年(平成24～28年度)の 生物モニタリング最大濃度									
															大気モニタリングに基づく最 大摂取量[mg/kg/day]	水質モニタリングに基づく最大 摂取量[mg/kg/day]	魚類モニタリングに基 づく最大摂取量 [mg/kg/day]	濃度 [μg/m3]	調査名	年度	濃度 [mg/L]	調査名	年度	濃度 [mg/kg]	調査名	年度							
	1, 1-ジクロロエチレン(別名塩化ビニリデン)	75-35-4	378		難	2	一般(経口)	中	5	<	1.4	0.0028	一般(経口)	<	0.0040	0.000024	有害大気	<	0.0040	健康項目			0.059	有害大気	2016	<	0.10	健康項目	2014				
	1-アリルオキシー-2, 3-エポキシプロパン	106-92-3	385		難	3	一般(経口)	低	5		0.00025	0.019	一般(経口)	0.0000047	0.0000047	黒本調査						0.012	黒本調査	2015									
	N, N-ジシクロヘキシルアミン	101-83-7	1084	275	良	2	一般(経口)	低	5		0.0026	0.0033	一般(経口)	0.0000088			0.0000088	要調査								0.00022	要調査	2015					
	N, N-ジメチルアセトアミド	127-19-5	1039		良	4	生殖発生(経口)	中	3		0.046	0.065	生殖発生(経口)	0.0030	0.000088	黒本調査	0.0029	黒本調査				0.22	黒本調査	2014	0.073	黒本調査	2015						
	デカン-1-イルベンゼンスルホン酸	31093-47-7			難	4	一般(経口)	低	4		0.083	0.20	一般(経口)	0.017			0.017	生活環境項目						0.42	生活環境項目	2014							
	ドデシルベンゼンスルホン酸	27176-87-0			難	4	一般(経口)	低	5		0.022	0.50	一般(経口)	0.011			0.011	生活環境項目						0.27	生活環境項目	2014							
	ノニルフェノール	25154-52-3	922	38	難	3	一般(経口)	中	3		0.096	0.025	一般(経口)	0.0024			0.0024	生活環境項目						0.060	生活環境項目	2014							
	ブタン-2-オン=オキシム	96-29-7	679		難	2	一般(経口)	中	5	<	0.00078	0.0067	一般(経口)	<	0.0000052	<	0.0000052	黒本調査				<	0.013	黒本調査	2014								
	メタクリル酸メチル	80-62-6	1048		良	4	一般(経口)	中	3		0.014	0.13	一般(経口)	0.0018	0.0018	有害大気						4.4	有害大気	2015									
	酢酸2-メトキシエチル(別名エチレンジグリコールモノメチルエーテルアセテート)	110-49-6	1041		良	4	生殖発生(経口)	低	4	<	0.000032	0.25	生殖発生(経口)	<	0.0000080	<	0.0000080	黒本調査				<	0.020	黒本調査	2014								
	ニクロム酸ナトリウム	10588-01-9	824	63	難	2	一般(経口)	中	5		0.024	0.0017	一般(経口)	0.000040	0.000040	有害大気						0.10	有害大気	2016									

※要調査項目については平成29年度のデータが得られたことから平成29年度のデータも含めている。

## 生態影響

優先通し 番号	物質名称	CAS No	旧指定・ 二監No	旧三監No	生分解性	有害性ク ラス	アミン類	化審法届出		モニタリング濃度に基づく評価					モニタリング濃度			有害性不確実係 数積 UFs
								今回の優 先度	暴露クラ ス	判定	PEC/PNEC比	PNEC[mg/L]	PNEC根拠	PEC[mg/L]	直近5年(平成24～28年度)の水質モニタ リング最大濃度*			
															濃度[mg/L]	調査名	年度	
	N, N-ジシクロヘキシルアミン	101-83-7	1084	275	良	1	アミン類	中	5		0.69	0.00032	藻類・慢性 毒性値	0.00022	0.00022	要調査	2015	50
	N, N-ジメチルアセトアミド	127-19-5	1039		良	外	外	5		0.049	>=	1.5	魚類・急性 毒性値	0.073	0.073	黒本調査	2015	1000
	α-[(1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニル]-ω-ヒドロキ ンポリ(オキシエチレン)(別名ポリ(オキシエチレン)=オクテル フェニルエーテル)	9036-19-5		42	難	2		中	4		0.037	0.0030	魚類・急性 毒性値	0.00011	0.00011	黒本調査	2014	1000
	ヘキサメチレンジアミン	124-09-4	1019		良	3	アミン類	低	5		0.039	0.070	魚類・急性 毒性値	0.0027	0.0027	黒本調査	2016	1000

※要調査項目については平成29年度のデータが得られたことから平成29年度のデータも含めている。

人の摂取量は、以下の通り求める。

(人の化学物質の推定一日暴露量[mg/kg/day]) EHE = EXPDW + EXPF + EXPA  
 (飲料水からの摂取量[mg/kg/day]) EXPDW = Criver\_man\*INTKDW/BW (魚介類からの摂取量[mg/kg/day]) EXPF = Cfish\*INTKF/(1000\*BW)  
 (大気からの摂取量[mg/kg/day]) EXPA = CA\*INTKA/BW (飲料水中濃度[mg/L]) Criver\_man  
 (魚介類中濃度[mg/kg]) Cfish (大気中濃度[mg/m3]) CA  
 (飲料水摂取量[L/day]) INTKDW = 2 (魚介類摂取量[g/day]) INTKF=45.3  
 (呼吸量[m3/day]) INTKA=20 (体重[kg]) BW=50